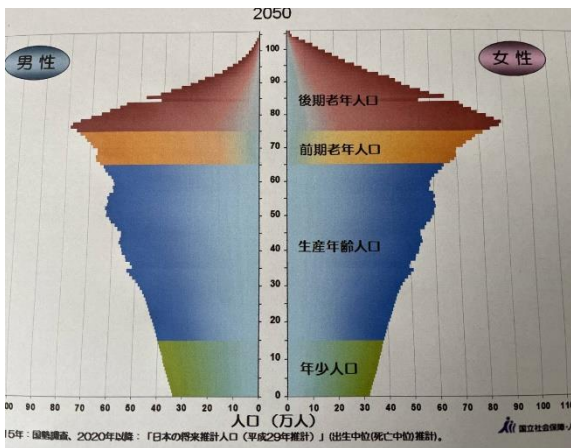


忍び寄る超高齢社会、親亡き後の備えは・・・

この程、国立社会保障・人口問題研究所から「2050年には全世帯に占める1人暮らしの割合が44.3%と予測される」というショッキングな発表がありました。当然ながら都会の1人暮らしは若者が多く、地方の1人暮らしは高齢者が多くなります。東海地区では、この割合は静岡県が37.7%、愛知県が42%となっています。図のオレンジが65歳から75歳の前期老年人口、茶色が75歳以上の後期老年人口です。人口の将来推測値は統計手法で精度の高い計算ができますので、深刻な事態といえるでしょう。

図は、日本の将来推計人口（国立社会保障・人口問題研究所）

やや古いデータですが 2018 年に実施した明生会の調査では、会員（父母）の平均年齢は



70.5 歳、当事者は 44.8 歳でした。現在ではもう少し年齢が高いと推測できますが、26 年後の 2050 年には 70.8 歳です。現在の当事者の 26 年後は、正に超高齢社会の真ただ中に老年期を迎え生きていくことになるのです。

図のピラミッドから考えると、「親亡き後」の家族の不安、悩みの解決は大変難しい課題と実感できると思います。どう備えたらよいのでしょうか。

「親亡き後」の問題は個々の事情や環境により違

いますので、まず、最初に取り組むことは自分の家族が関わる事柄の整理なのではないでしょうか。課題の優先順位です。例えば、お金全般のこと、家や住まい方、地域との付き合い、親類縁者との関係、食事・掃除・洗濯等生活上のこと、等々です。中でも、最大の課題は“お金”に関することと思います。“収入”はどうか、“支出”はどうか。生活の収支は大丈夫か。具体的なシミュレーションをすることも必要でしょう。更に、多くの当事者はその生活費収入を障害年金と福祉的就労収入に依存している実態があります。その一方で、無年金者も多く存在しています。つまり優先課題は生活の基本である“収入”への対策と考えます。障害年金の支給額の拡大及び無年金者への対策、併せて福祉事業所等の工賃・賃金の向上を求めたいと思う次第です

(赤池千明)

理事会からの報告 —令和6年9月から令和6年11月—

この時期の理事会では年度中期の諸活動と経営状況確認が主な議題になります。

家族会活動では、例年10月は関係する三つの家族会大会が行われました。今年の特徴は、すべての大会が1日開催になったことです。また甲州・東海ブロック大会及び全国大会は現地参加とオンライン参加を併用したことでした。静岡県大会では静岡福祉大学増田学長の講演がありました。日常活動では広報誌つながり発行、毎週の当番、家族ピア学習会、当事者会結の会も定期的実施。浜松市主催の各種の事業や会議に担当を決めて参加しています。

B型事業所「つばめ創社」については1日平均利用者数が約15名でした。下期にかけて2~3名の利用者増を目指します。一方、作業の内容についても検討が必要です。新たな自主製品の開拓等を中心に見直してまいります。

最後に全体の法人全体の決算状況ですが、9月から11月までは欠損はありませんでしたが、下期への改善に注力してまいります。



令和6年9月中旬～令和6年12月初旬までの活動報告

9月15日(日)当事者会「結の会」。当事者6名、世話人3名参加。

9月18日(水)相談員研修。明生会事務所にて、相談員7名参加。

9月22日(日)第5回ピア学習会。明生会事務所にて。13名参加。

9月24日(火)第3回統合失調症家族教室。精神保健福祉センターにて。担当者2名参加。

10月5日(土)甲州・東海ブロック大会。山梨県甲府市にて。2名参加。

10月13日(日)第7回理事会。明生会事務所にて。理事5名参加。

10月20日(日)当事者「結の会」。当事者5名、世話人2名参加。

10月22日(火)第4回統合失調症家族教室。精神保健福祉センターにて。担当者4名参加。

10月27日(日)第6回ピア学習会。明生会事務所にて。14名参加。

11月10日(日)第8回理事会。明生会事務所にて。理事6名参加。

11月17日(日)当事者会「結の会」。当事者4名、世話人1名参加。

11月26日(火)第1回統合失調症家族教室。浜北会場。浜名区役所にて。担当者1名参加。

12月1日(日)家族同士の交流会。福祉交流センターにて。22名参加。

12月8日(日)第9回理事会。明生会事務所にて。理事6名参加。



精神科病院の待合室にて

息子の通院日での出来事です。

受付で高齢の父親と娘さんが何やらもめています。「ほらマスクを外して!」「もっと髪を上げて!」「前に顔を向けて!」と。その声は段々と大きくなり、父親の苛立ちがわかります。どうやらマイナンバーカードで顔認証をしているようですが上手くいかないようです。5分経ち、10分位経ったでしょうか。とうとう我慢できなくなり、娘さんは奇声を上げて父親に怒りをぶつけました。

「暗証番号を覚えないから、顔認証にしたじゃないか」と父親も怒っています。

ここは社会的弱者が集まる精神科の待合室。デジタル化を進めたい国の政策も分からないではないけれど、使う側の立場に寄り添った優しい制度であっても良いのになあと、やりきれない思いで私は二人の様子を見ていました。

また一方、別の場所では体格の良い青年が、待ち時間に飽いてしまったのか、何か気に食わない事があったのか、急に大声を出し、地団駄踏んで母親に手を挙げて殴りかかろうとしています。

離れた場所でしたので、何を話していたかは不明ですが、なかなか穏やかになりません。

若い母親は泣きだしたい気持ちだったことでしょうか。たとえ慣れている事だったとしても。

ここは精神科の待合室。病院には専門のスタッフさんが沢山いるはずですが。仕事中であったとしても、「どうしましたか?」と一声掛けてくれても良いでしょう。第三者が入ってくれるだけで、場の空気が変わることもあるのですから。彼も落ち着くかもしれません。

いえいえ、他人のせいにはばかりしてはいけないのかも。親として同じ立場の私自身が「何かお手伝い出来ることはありますか?」と、勇気を出して声を掛けるべきだったのかもしれないと後になって思いました。

とにかく自分の家のことばかりに一喜一憂してしまう毎日の暮らしですが、小さな事でも他人事ではなく、自分事として考える目を持たなければいけないと反省した一日でした。(鈴木 陽子)



今後の活動予定

12月15日(日)当事者会「結の会」。

12月17日(火)第2回統合失調症家族教室。浜北会場。浜名区役所にて。13:30~15:30。

令和7年

1月10日(金)相談員研修。明生会事務所にて。10:00~

1月12日(日)第10回理事会。明生会事務所にて。13:00~15:30。参加者、理事。

1月19日(日)当事者「結の会」。

1月21日(火)第3回統合失調症家族教室。浜北教室。浜名区役所にて。13:30~15:30。担当者参加。

1月26日(日)第7回ピア学習会。明生会事務所にて。13:00~15:00。参加費300円。

2月9日(日)第11回理事会。明生会事務所にて。13:00~15:30。参加者、理事。

2月23日(日)第2回地域ふれあい講演会。福祉交流センター2F 大会議室にて。(別紙参照)

2月25日(火)第4回統合失調症家族教室。精神保健福祉センターにて。13:30~15:30。担当者参加。

3月4日(火)統合失調症家族教室運営会議。精神保健福祉センターにて。担当者参加。

トピックス

10月5日(土) 甲州東海ブロック大会が山梨県甲府市で行われました。

「精神障害者の自立した生活と家族のあり方」という演目で、兵庫県但馬県民局 豊岡健康福祉事務所 所長、柳 尚夫やなぎひさお氏の講演がありました。

10月12日(土) 第16回全国精神保健福祉大会北海道大会が札幌市・北海道大学学术交流会館で開催されました。講演会や活動報告、三つの会場に分かれての分科会等が行われ、オンライン参加者も含め約400名が参加しました。次年度は京都市での開催が決まっています。

10月28日(月) 県連福祉大会が静岡市で行われました。

静岡福祉大学学長の増田樹郎氏の「障がいがあっても地域で安心して暮らせる社会の実現を目指して」の講演がありました。

また、長年の家族会活動への顕著な功績が認められ、会員の石樽純子さんが功労者表彰を受けました。

12月1日(日) 親睦交流会が福祉交流センターにて行われました。日頃顔を合わせる事の少ない会員たちと、近況報告や困りごと等を話し合い、交流を深めました。



甲州東海ブロック大会



親睦会の様子

編集後記・・・先日、地域防災訓練が行われました。自主防災隊の放水訓練や人工呼吸の仕方など習い、炊き出しのご飯を頂きました。いつ災害が起こるか分かりません。こうした訓練は定期的に参加したほうが良いと思います。ただ、精神疾患の娘はなかなか参加出来ません。地域のイベントや催しに少しでも参加出来たらいいなと思います。

(鈴木智子)

